

# 2019年度「新規高卒者採用選考にかかわる実態調査」 結果報告書の概要

I【調査実施主体】新潟県同和教育研究協議会 進路保障部会

II【調査内容】 2019年9月から11月末までの間に就職試験(民間・公務員)を受けた新潟県内の公立・私立高等学校生徒、特別支援学校・養護学校高等部生徒の全員を対象として実施したもので、全国統一応募用紙(調査書・履歴書)以外に提出した書類と、面接時の不適切な質問内容件数をまとめたもの。

## 1 全国統一応募用紙(調査書・履歴書)以外に提出した書類(民間・公務員合算)

項目	調査回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
	回答者総数	5,922	4,971	4,453	4,959	4,876	5,024	4,640	4,939	4,401	4,093	4,601	4,571	3,426	4,283	5,073	4,962	5,213	5,176	5,037	5,003
事業所所定用紙	252	183	157	192	217	254	221	254	170	196	273	261	92	138	62	151	113	190	178	235	
戸籍謄本(抄本)	88	59	37	21	23	32	21	28	21	18	20	15	18	12	0	0	0	0	1	1	
住民票	85	74	71	37	39	67	38	68	32	47	40	28	22	21	13	14	17	14	16	21	
健康診断票	305	233	181	106	100	126	122	167	130	166	137	120	89	111	131	166	165	194	231	193	
血液検査表	177	123	67	45	42	60	52	69	49	72	47	47	38	37	42	46	26	60	72	40	
尿検査表	224	177	97	63	51	60	62	95	66	120	78	74	58	54	64	97	78	92	115	97	
誓約書	898	652	415	214	282	242	228	230	433	316	136	109	113	94	61	75	54	47	39	64	
合計	2,029	1,501	1,025	678	754	841	744	911	901	935	731	654	430	467	373	549	453	597	652	651	
違反件数の割合(%)	34.3%	30.2%	23.0%	13.7%	15.5%	16.7%	16.0%	18.4%	20.5%	22.8%	15.9%	14.3%	12.6%	10.9%	7.4%	11.1%	8.7%	11.5%	12.9%	13.0%	

項目	調査回	21回	22回	23回	24回
	年度	2016	2017	2018	2019
	回答者総数	4,963	4,496	4,368	4,307
事業所所定用紙	224	256	254	190	
戸籍謄本(抄本)	0	5	2	7	
住民票	11	26	11	30	
健康診断票	173	158	138	128	
血液検査表	40	36	32	14	
尿検査表	84	34	53	59	
誓約書	58	86	98	83	
合計	590	601	588	511	
違反件数の割合(%)	11.9%	13.4%	13.5%	11.9%	

## 2【提出書類に関わる問題点】 ～「事業所所定用紙」の提出事案が大幅に増加～

2018年度の調査で「戸籍謄(抄)本」の提出事案は2件でしたが、今回の調査でも提出を求めた事案が7件(いずれも公務員採用試験)もありました。

また、「事業所所定用紙」の提出は前年度から64件減少し、190件となりました。

公務員採用試験においては、「全国統一応募用紙」を採用している市町村等が少ないことから、「全国統一応募用紙」以外の書類提出を求められた事案のほとんどが公務員採用試験におけるものです。

また、公務員において「住民票」の提出が求められました。住民票に書かれている内容に関しては「住民票記載事項の証明書」でもこと足りると思われることから、一律に、しかも採用選考時に提出を求める方法は再考が必要です。

応募書類は「全国統一応募用紙」のみを使用し、「事業所所定用紙」、「戸籍謄(抄)本等」の提出は絶対に求めさせない。また、特に必要な場合を除き、採用選考時の健康診断は実施しないよう対応が必要です。

### 3 面接時の不適切な質問内容件数(民間・公務員合算)

項目	調査回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
	回答者総数	5,922	4,971	4,453	4,959	4,876	5,024	4,640	4,939	4,401	4,093	4,601	4,571	3,426	4,283	5,073	4,962	5,213	5,176	5,037	5,003
自宅の住所	2,827	912	684	569	578	696	504	548	436	394	361	304	148	224	203	192	175	109	99	70	
本籍	155	121	65	41	61	61	35	56	32	21	16	11	5	2	3	6	0	0	0	0	
家族構成と家族の職業	1,878	1,178	911	782	674	834	702	939	777	537	582	397	255	337	314	299	362	244	217	175	
信条・政党・新聞・愛読書等		166	119	88	77	63	61	107	62	47	34	36	14	21	26	24	46	15	19	22	
保護者死亡の理由	26	23	13	13	12	16	3	12	9	5	3	1	0	2	3	3	2	2	4	0	
保護者離婚の理由	16	9	10	9	8	28	1	5	6	2	2	0	1	1	4	1	4	1	2	1	
信仰している宗教・宗派	30	27	27	40	23	55	50	48	35	23	6	7	2	4	13	9	3	6	9	3	
合計	4,932	2,436	1,829	1,542	1,433	1,753	1,356	1,715	1,357	1,029	1,004	756	425	591	566	534	592	377	350	271	
違反件数の割合(%)	83.3%	49.0%	41.1%	31.1%	29.4%	34.9%	29.2%	34.7%	30.8%	25.1%	21.8%	16.5%	12.4%	13.8%	11.2%	10.8%	11.4%	7.3%	6.9%	5.4%	

項目	調査回	21回	22回	23回	24回
	年度	2016	2017	2018	2019
	回答者総数	4,963	4,496	4,368	4,307
自宅の住所	81	66	51	45	
本籍	2	0	1	1	
家族構成と家族の職業	145	98	93	76	
信条・政党・新聞・愛読書等	18	10	9	9	
保護者死亡の理由	0	0	0	0	
保護者離婚の理由	0	0	2	0	
信仰している宗教・宗派	0	2	1	0	
合計	246	176	157	131	
違反件数の割合(%)	5.0%	3.9%	3.6%	3.0%	

### 4 【面接に関わる問題点】 ～件数は減少しているものの、まだ多くの不適切な質問が見受けられます～

2018年度3.6%であった不適切な質問件数の割合は3.0%となり、件数は131件（対前年比26件減）となりました。

ただし、不適切な質問の傾向は昨年と変わらず、特に家族構成と家族の職業については、前年度より18.2%（17件）減少したものの、割合は58.0%（対前年度比1.2P減）を占めています。

生徒は、将来の姿を考え、自分に合っている仕事はこれなんだと納得させ、応募する企業を決定しています。人生の大きな節目の就職試験で、本人のこと以外を聞かれたらどう思うでしょうか。例えば、父親や母親がいない生徒に「家族構成を教えてください」と聞いたら、その生徒がどう感じるかは誰でも理解できることです。当然、全国统一応募用紙制定の趣旨にも反します。

面接試験では「本籍地や家族の状況・職業」など本人に責任のない事柄や、「思想・信条」など本来自由であるべき事柄については、就職差別につながるおそれがありますので、質問しないでください。

生徒は、企業に自分の適性・能力を最大限見ってもらうために応募します。高い労働力を提供しようと努力こそしますが、「雇用」によって人格まで提供するものではありません。

採用試験の面接では何を聞くべきなのか、もう一度原点に立ち返って考えていただき、有能な人材をみすみす逃すような採用選考はしないでください。

【編集・発行】

新潟県同和教育研究協議会 進路保障部会  
（編集・加工 新潟労働局職業安定課）